

P.Lテスター

乳房炎簡易診断液

【本質の説明又は製造方法】

この診断液は、乳房炎の簡易検出のために使用するものです。乳房炎の一番確実な診断は白血球数を計算することですが、これは操作が面倒なために、あまり現地では応用されていません。

これに反してこの診断液は、現地で極めて短い時間で簡易に間接的に白血球数とpHの測定をして、その場で乳房炎の診断が出来る診断液です。また、集乳所に集まった牛乳について検査を行えば、乳房炎検出のスクリーニングテスト用として効果があります。

【成分及び分量】 100mL中

成分	分量
ブロムチモールブルー	0.02g
ドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム	0.85g

【使用目的】

牛：乳房炎の診断

【使用方法】

乳汁1～2mLを適量な容器（ペトリ皿等）にとり、これに等量の本試液を加え、前後左右に傾斜混合し、体細胞数を凝集の程度、pHを色調により観察し、判定する。

【使用上の注意】

「基本的事項」

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

・本剤は使用目的において定められた目的にのみ使用すること。

・本剤は定められた使用方法を厳守すること。

（取扱い及び廃棄のための注意）

・作業後は、石けん等で手をよく洗うこと。

・小児の手の届かないところに保管すること。

・本剤は使用后必ず密栓し、直射日光、高温及び多湿を避けて保管すること。

・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れ替えないこと。

・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

・本剤を誤飲した場合、多量の水を飲ませて吐き出させること。また、本剤が眼に入った場合は、水で洗眼する等の適切な処置を行うこと。それでも異常が認められた場合は医師の診察を受けること。

（取扱い上の注意）

1 検体乳に関する注意

・原則として新鮮乳について実施すること。

・泌乳末期乳の一部のもの及び治療後間もないもので治療効果が認められた場合でも、数日間は牛乳の反応が陽性になることが多いので、判定の際にはこの点を考慮すること。

・検査乳汁は十分振盪してから使用すること。

2 検査実施時の注意

・連続して同じシャーレを使う場合は浄水で十分洗浄し、布でよく拭いて使用すること。

・複数の乳汁の検査において、連続して同じピペット（スポイト）を使う場合は、乳汁の混合により判定が困難となることがあるため、使用するピペット（スポイト）はその都度浄水で良く洗浄し、更に検査乳汁で2～3回洗浄して（この際洗浄液は別容器に捨てること）から使用すること。

・寒冷時、診断液は凝固するので、40～50℃の温湯に入れ溶解してから、使用すること。

・診断液の変質を防ぐために、診断液専用のピペット（スポイト）を使用し、汚れたピペット（スポイト）は診断液の中に入れないよう注意すること。

・凝集はシャーレを傾けながら判定すること。

・色調は乳をシャーレの片側（「P.Lテスター シャーレ」（日本全業工業株式会社）を使用する場合は黒色側）に集めて判定すること。

・乳房炎の判定方法は別記の「P.Lテスターによる乳房炎判定標準表」を参照し、A)凝集の程度及びB)色調の程度を各々判定した後、MCMT法におけるC)総合判定表と照らし合わせて乳房炎の判定を行うこと。

【使用期限】 包装に表示の使用期限内に使用すること。

【包装】 500mLポリエチレン容器

【製品情報お問い合わせ先】

日本全業工業株式会社

〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

フリーダイヤル 0120-452-793

受付時間 9:00-17:00（土日祝日・弊社休業日を除く）

製造販売元

 **日本全薬工業株式会社**
ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。